

News Release

2020 年 6 月 23 日
国立大学法人 一橋大学
社会科学高等研究院
医療政策・経済研究センター (HIAS Health)

一橋大学では、「HIAS Health 医療経済短期集中コース」の受講申込みの受付を 2020 年 6 月 23 日 (火) より、開始します。

「HIAS Health 医療経済短期集中コース」は、医療経済分析の手法を基礎から実践的に学ぶ、社会人の方を対象とした 2 週間 (週末の 4 日間) の短期集中コースです。第 3 回目となる 2020 年度は、11 月 20 日 (金) から 11 月 29 日 (日) に開講いたします。

医療・介護の現場の専門職、医療・社会保障政策を立案する自治体職員、また民間企業の方を対象に、Evidence-based Policy Making (EBPM-科学的な根拠に基づく政策立案) の考え方と根拠の求め方を、演習を交えて基礎から学び、理解していただくことを目的として、一橋大学大学院経済学研究科および社会科学高等研究院 医療政策・経済研究センター (HIAS Health) が実施するものです。今年は基調講演等におきまして、コロナ禍への対応と課題について取り上げる場を設けさせて頂きました。参加者の方々とも積極的に議論させて頂ければと存じます。

コースの概要

期間 2020 年 11 月 21 日 (土)、22 日 (日)、28 日 (土)、29 日 (日)
11 月 20 日 (金) 15 時から、希望者を対象に「コースで使われる統計学の基本」の講義を行います。
なお、社会情勢により、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、オンライン開催等に変更する場合があります。

会場 一橋大学千代田キャンパス (東京都千代田区一ツ橋 学術総合センター)

受講料 15 万円 / 人 ※受講料には、テキスト代等を含みます。

受講申込 Web 申込みとなります。受付期間は、6 月 23 日 (火) から 8 月 31 日 (月) までです。
<http://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/program/>
定員は 40 名で、受講申込書に基づいて書類選考が行われます。

コースの特徴

データから日本の医療を考えるための手法を実践的に学びます。HIAS Health における最先端の研究成果に触れることができます。医療経済分析における実践的な統計の手法について、講義とエクセル等の統計ソフトを用いた演習を通じて学ぶことができます。講義や講演などの座学と、演習やグループワークを組み合わせたアクティブ・ラーニングが導入され、より深い理解が得られます。医療従事者、地方自治体職員、民間企業社員と、受講者は多様です。4 日間のコースを通じて、経歴や立場の異なる受講者間の交流・関係構築が促進されます。

コース開設の背景

100 歳時代の到来や医療の高度・高額化に伴い、日本の国民医療費は年間 42 兆円を超え、深刻な財政リスクとなっています。医療・介護への社会のニーズを満たしつつ、制度を「持続可能」にするには、限られた資源 (予算) の効率的な活用を考えなければなりません。そのために、これまで臨床・疫学的なアプローチが主流であった医療・介護分野の政策決定に、EBPM (科学的な根拠に基づく政策立案) を取り入れることが求められています。医療・介護に関わる専門職の方々が EBPM の考え方を理解することが、これまでに増して重要となっています。

お問合せ先

国立大学法人 一橋大学
社会科学高等研究院
医療政策・経済研究センター (HIAS Health)
住所 〒186-8601 東京都国立市中 2 丁目 1 番地
E-mail hias-info@dm.hit-u.ac.jp
HP <http://health-economics.hias.hit-u.ac.jp>

一橋大学 HIAS Health 社会連携プログラム 第3回医療経済短期集中コース（2020年）

時間割り

（2020年6月19日版）

		コースで使われる統計学の基本 （希望者のみ） ※追加料金はありません。	
11月20日（金）	15:00—18:30	※ 表計算ソフトを用いた実技も行います。	
		講師：中村良太 一橋大学社会科学高等研究院 准教授／HIAS Health 研究員	
11月21日（土）	9:00—9:30	オリエンテーション	
	9:30—12:00	テーマ1：医療保健政策の政策評価 講義と演習（表計算ソフトを用いた実技）	
		講師：高久玲音 一橋大学大学院経済学研究科 准教授／HIAS Health 研究員	
	12:00—13:30	昼食（受講生全員の自己紹介タイムを設ける）	
	13:30—15:00	基調講演1：コロナ危機における経済政策対応	
		講師：小林慶一郎 公益財団法人東京財団政策研究所 研究主幹	
	15:00—15:10	休憩	
	15:10—16:00	実践現場からの報告 1：日本のプライマリケアの現状と課題 ～新型コロナウイルス感染症は何を明らかにし、何を変えたか～	
		講師：西岡大輔 東京大学大学院医学系研究科健康教育・社会学分野 博士課程／日本プライマリ・ケア連合学会 認定家庭医療専門医／千葉県介護支援専門員／江戸川学園おおたかの森専門学校 社会福祉士養成課程	
	16:00—16:10	休憩	
	16:10—17:40	時事報告：医療介護分野における規制改革	
		講師：彦谷直克 内閣府規制改革推進室 次長	
	18:00—19:30	受講生の交流会	
11月22日（日）	9:30—12:00	テーマ2：医療機関の管理会計について 講義と演習（バランスト・スコアカード）	
		講師：荒井耕 一橋大学大学院経営管理研究科 教授／HIAS Health 研究員	
	12:00—13:00	昼食	
	13:00—15:30	テーマ3：費用効果分析 講義と演習（表計算ソフトを用いた実技）	
		講師：五十嵐中 横浜市立大学医学部健康社会医学ユニット 准教授／東京大学大学院薬学系研究科 特任准教授／HIAS Health 客員研究員	
	15:30—15:40	全体写真 撮影	
	15:40—16:30	グループワーク 準備（受講生のみ）	
11月28日（土）	9:30—11:00	基調講演2：医療と行動経済学	
		講師：大竹文雄 大阪大学大学院経済学研究科 教授	
	11:00—11:10	休憩	
	11:10—12:00	実践現場からの報告：東京都地域医療構想の実現に向けて	
		講師：東京都福祉保健局	
	12:00—13:00	昼食	
	13:00—14:50	テーマ4：アフリカの保健・医療制度改革と住民参加（選択実験を応用したヘルスシステムリサーチの紹介）	
		講師：本田文子 上智大学経済学部 准教授	
	14:50—15:00	休憩	
	15:00—17:30	グループワーク 講師またはチューター	
11月29日（日）	9:30—11:30	グループワーク 報告	
	11:30—12:30	昼食	
	12:30—14:30	グループワーク 報告	
	14:30—14:40	休憩	
	14:40—16:10	パネルディスカッション	
	16:10—16:20	休憩	
	16:20—16:40	認証式	

受講申込方法等概要

期間	2020年11月20日（金）、21日（土）、22日（日）、28日（土）、29日（日）
会場	一橋大学千代田キャンパス（東京都千代田区一ツ橋2-1-2、学術総合センター2階 一橋講堂 中会議場） なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、オンライン開催等に変更する場合があります。
定員	40名（最少催行人数に満たない場合は、コースの開催を中止することがございますので、あらかじめご了承ください。）
受講料	15万円／人（受講料には、テキスト代等を含みます。） ※ 地方自治体職員（病院勤務者を除く）および大学院生（社会人学生を除く）の方の受講料については、在職・在籍確認の上、5万円／人といたします。 ※ オンライン開催となった場合には、受講料を改定する場合がございますので、あらかじめご了承ください。
受講申込期間	2020年6月23日（火）～8月31日（月）
受講申込方法	Web申込となります。下記のページから受講申込みフォームへお進みください。 http://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/program/ 受講申込書に基づいて書類選考を行います。選考結果は9月14日（月）までに受講申込者全員にお知らせします。
受講料の支払	書類選考の合格者には、後日、請求書を発行いたします。2020年10月16日（金）までに入金をお願いいたします。 期日までに入金が確認されない場合は、受講資格を取り消します。
実施者	主催者都合によりコースの開催を中止した場合を除き、受講料の返金はいたしません。予めご了承ください。 本短期集中コースは、一般社団法人一橋大学知識共創機構からの受託事業として、一橋大学大学院経済学研究科および社会科学高等研究院 医療政策・経済研究センター（HIAS Health）が実施するものです。

第2回医療経済短期集中コース

第2回目となった2019年度の「医療経済短期集中コース」は、2019年11月22日(金)、23日(土)、24日(日)、30日(土)、12月1日(日)の日程で行われました。医師・看護師を含む医療従事者、病院事務部門、地方自治体、製薬企業などから、38名の方が第二期生として受講されました。



第2回医療経済短期集中コース 受講生の声

受講者へのアンケートでは、回答者37名中、30名の方から「本コースを誰かに薦めたい」とご回答いただきました。以下、受講生アンケートのご意見から。

- サポートイブな雰囲気が学びの場を動機づけたと思う。自分の知りたいことの発問を専門の先生方にとのよう伝えるかが課題であると改めて痛感した。満足度は高い。(医療機関)
- 全く知らない世界を学べた。病院会計、経営の重要性、DPCの有用性が分かった。(製薬関係)
- 統計学の基本だけでなく、向き合い方も学ぶことができました。(製薬関係)
- 操作方法(Excel)だけでなく、理論のご説明があったのは、本質的な理解をする上で役立った。(製薬関係)
- 政策の効果を考える時に使うべき統計を学ぶことができました。(製薬関係)
- 政策評価の手法、概念の大枠を体系的に勉強することができ、非常に有意義でした。ありがとうございました。(製薬関係)
- 演習を用いた講義で知識の定着をより深めることができた。(医療機関)
- 大変分かり易い講義で理解が深まった。実際に手を動かすとQOLの意味などより感覚的に学ぶことができたと感じます。(製薬関係)
- 説明が非常に分かりやすく、事前知識があまりない状態でしたが、つまづくことなく講義についていくことができました。(コンサル関係)
- 既得権益にこだわらず、長期的かつ大きな視点から真剣に考え、持っているものを手放す勇氣が必要だと思いました。(コンサル関係)
- それぞれの立場の物言いの中に、エビデンスをコミュニケーションとすることの意味を感じました。大変参考になりました。(製薬関係)
- 多様なバックグラウンドの方たちが集まっていたので、いろいろな視点、気づきがあり大変有意義でした。(製薬関係)

一橋大学社会科学高等研究院

一橋大学では、日本および世界の喫緊の社会的な重要課題に対して、学際的かつ集中的に取り組む国際共同研究のハブ(拠点)として、平成26年に、学長直轄の研究組織「一橋大学社会科学高等研究院」を設置しました。英語名「Hitotsubashi Institute for Advanced Study」の頭文字からHIAS(ハイアスと発音します。)を略称としています。さらに、社会的な重要課題の一つである、医療・介護・社会保障を取り巻く問題の解決のために、質の高い社会科学研究によって貢献することを目的に、平成28年2月にHIASのもとに「医療政策・経済研究センター(HIAS Health)」を設置して、研究を進めています。

コースの概要 (2020年度)

- 期 間 2020年11月20日(金)午後、21日(土)、22日(日)、
28日(土)、29日(日)
- 会 場 一橋大学 千代田キャンパス
(東京都千代田区2-1-2 学術総合センター2階 一橋講堂 中会議場)
- 定 員 40人
- 受講料 15万円/人
※受講料には、4日間の昼食代、テキスト代等を含みます。
※地方自治体職員(病院勤務者を除く)および大学院生(社会人学生を除く)
の方の受講料については、在職・在籍確認の上、5万円/人いたします。
- 受講申込み 2020年6月受講申込み受付開始予定(WEB申し込み)
<http://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/program/>
- 実施者 一橋大学大学院経済学研究科および社会科学高等
研究院 医療政策・経済研究センター(HIAS Health)



コースの特徴

EBPM(科学的な根拠に基づいた政策立案)

HIAS Healthにおける最先端の研究成果を取り入れ、社会科学の知見を医療の政策立案・実務の現場に反映させることを目指しています。

実務的な統計手法の習得

医療経済分析における統計の手法について、講義とエクセル等統計ソフトを用いた演習を通じて学びます。

座学とグループワークを合わせたアクティブ・ラーニング

講義のテーマの中から事前に受講生に希望調査をし、関心に応じて、5名程度のグループを編成し、グループワークを行います。

受講生間の交流

自治体・医療関係者等、バックグラウンドの異なる受講者間の交流・関係構築を促し、政策立案と現場の連携に繋がります。



●お問い合わせ先
一橋大学社会科学高等研究院
医療政策・経済研究センター(HIAS Health)
〒186-8601 東京都国立市中2-1
URL <http://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/>
E-mail hias-info@dm.hit-u.ac.jp



社会連携プログラム

第3回

医療経済 短期集中コース

—EBPMで考える医療経済—



一橋大学
HITOTSUBASHI UNIVERSITY

一橋大学
大学院経済学研究科
一橋大学社会科学高等研究院
医療政策・経済研究センター

医療経済短期集中コースについて

医療・介護に関わる専門職の方々がEBPMの考え方を理解することが、これまでに増して重要となる中、一橋大学では、社会人を対象とした高度職業人専門プログラム(リカレント教育プログラム)である「HIAS Health社会連携プログラム医療経済短期集中コース」を、2018年度より開講しました。

コースでは、データに基づいた医療・介護に関わる政策・経営の実態把握と分析や効率化に向けた手法等を、データ分析の初心者にも分かりやすく講義します。また、演習・グループワークなどのアクティブ・ラーニングを組み込み、内容への理解を深めるとともに、バックグラウンドの異なる受講者間の交流・関係構築の促進が図られます。

是非、医療・介護の現場で仕事をされている方、政策立案に携わる方、製薬企業、大学関係者など医療経済に関心のある方に、広く受講していただければと願っております。



佐藤 主光 Motohiro SATO

一橋大学社会科学高等研究院
医療政策・経済研究センター(HIAS Health)
センター長
一橋大学大学院経済学研究科 教授
一橋大学国際・公共政策大学院 教授

コースの内容 (例:2019年度の時間割から)

2020年度の時間割は6月にHPで公開予定

- コースで使われる統計学の基本 講義と演習
[講師] 中村 良太 一橋大学社会科学高等研究院 准教授/HIAS Health 研究員
- 医療保健政策の政策評価 講義と演習
[講師] 高久 玲音 一橋大学大学院 経済学研究科 准教授/HIAS Health 研究員
- 費用効果分析 講義と演習
[講師] 五十嵐 中 横浜市立大学医学群 健康社会医学ユニット 准教授/
東京大学大学院 薬学系研究科医療政策学 客員准教授/HIAS Health 客員研究員
- 医療政策の時事報告『医療介護分野の未来投資戦略—現状と課題』
[講師] 翁 百合 株式会社日本総合研究所 理事長
- 医療機関の管理会計 講義と演習
[講師] 荒井 耕 一橋大学大学院経済学研究科 教授/HIAS Health 研究員
- 技術進歩の中で医療制度運営の全体最適を目指す社会科学 講演
[講師] 松山 幸弘 キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹
- 実践現場からの報告①『体験型健康医学教室でひと・まち・しごとを元気にする』
[講師] 山下 積徳 つみのり内科クリニック 院長/(株)True Balance 代表取締役
- データから分かる社会参加と健康の関係 講演
[講師] 小塩 隆士 一橋大学 経済研究所 教授/HIAS Health 研究員
- 実践現場からの報告②『東京都地域医療構想について』
[講師] 千葉 清隆 東京都福祉保健局 医療政策部 計画推進担当課長
- ランチセミナー『グローバルヘルス・ユニバーサル・ヘルス・カバレッジに向けた保健財政』
[講師] 戸邊 誠 JICA 人間開発部 国際協力専門員/HIAS Health 客員研究員
- 生活習慣病対策の国際医療経済学—費用対効果と健康行動分析 講義
[講師] 中村 良太 一橋大学社会科学高等研究院 准教授/HIAS Health 研究員
- グループワーク ■グループワーク報告会

受講生の声



- サポートティブな雰囲気学びの場を動機づけたと思う。自分の知りたいことの発問を専門の先生方にどのように伝えるかが課題であると改めて痛感した。満足度は高い。(医療機関)
- 全く知らない世界を学べた。病院会計、経営の重要性、DPCの有用性が分かった。(製薬)
- 実際に体験された方の生の声があり、今後の自分の業務で提言できるものを得られた。(自治体)
- 政策の効果を考える時に使うべき統計を学ぶことができました。(製薬)
- 政策評価の手法、概念の大枠を体系的に勉強することができ、非常に有意義でした。ありがとうございました。(製薬)
- 演習を用いた講義で知識の定着をより深めることができた。(医療機関)
- 大変分かり易い講義で理解が深まった。実際に手を動かすとQOLの意味などより感覚的に学ぶことができたと感じます。(製薬)
- 説明が非常に分かりやすく、事前知識があまりない状態でしたが、つまづくことなく講義についていくことができました。(コンサル)
- 既得権益にこだわらず、長期的かつ大きな視点から真剣に考え、持っているものを手放す勇気が必要だと思いました。(コンサル)
- それぞれの立場の物言いの中に、エビデンスをコミュニケーションとすることの意味を感じました。大変参考になりました。(製薬)
- 多様なバックグラウンドの方たちが集まってのグループワークだったので、いろいろな視点、気づきがあり大変有意義でした。(製薬)

